



FOREX WEEKLY REPORT

2018年11月12日

(株)新生銀行 市場営業部

SFXM-1811127899

I. 先週の動き

通貨			東京市場			海外市場			終日	
			始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値
ドル円 高値 114.09 安値 112.94	11/5	月	113.16	113.11	113.33	113.08	113.34	113.20	113.08	113.34
	11/6	火	113.19	113.17	113.45	113.11	113.50	113.45	113.11	113.50
	11/7	水	113.43	112.97	113.82	112.94	113.60	113.60	112.94	113.82
	11/8	木	113.52	113.47	113.74	113.60	114.09	114.06	113.47	114.09
	11/9	金	114.07	113.80	114.08	113.64	113.99	113.82	113.64	114.08
ユーロ円 高値 130.15 安値 128.61	11/5	月	128.97	128.77	129.12	128.61	129.31	129.14	128.61	129.31
	11/6	火	129.12	129.12	129.46	128.87	129.60	129.60	128.87	129.60
	11/7	水	129.62	129.39	129.90	129.48	130.15	129.88	129.39	130.15
	11/8	木	129.71	129.71	130.03	129.40	130.13	129.65	129.40	130.13
	11/9	金	129.61	129.05	129.66	128.74	129.36	129.01	128.74	129.66
ユーロドル 高値 1.1500 安値 1.1317	11/5	月	1.1387	1.1378	1.1399	1.1346	1.1424	1.1407	1.1346	1.1424
	11/6	火	1.1407	1.1399	1.1420	1.1392	1.1438	1.1428	1.1392	1.1438
	11/7	水	1.1427	1.1395	1.1473	1.1425	1.1500	1.1425	1.1395	1.1500
	11/8	木	1.1426	1.1412	1.1437	1.1352	1.1447	1.1362	1.1352	1.1447
	11/9	金	1.1363	1.1335	1.1369	1.1317	1.1360	1.1335	1.1317	1.1369

◆先週の動き

【11/5】週明けのドル円は113.15-20レベルでオープン。東京時間は日経平均株価が寄り付きから軟調推移となる中113.11まで小幅に緩むも、その後は113.20を挟んで動意無い展開が欧州時間まで続き、113.34(高値)がこの日の高値となった。NY時間には米10年債利回りが低下したことで113.08の安値まで下落した。米10月ISM非製造業指数(実績60.3/市場予想59.0)は市場予想対比良好な結果となったが相場への影響は限定的だった。引けにかけては小幅に買い戻され113.20レベルで引けた。米国中間選挙を控える中、1日のレンジは26銭に留まり、総じて様子見の展開となった。ユーロドルは1.1400レベルでオープン。欧州時間にかけて1.1383-1.1407のレンジで方向感なく推移した。欧州時間は、「イタリアが予算案を修正しなければ、欧州委員会は21日の会合で制裁措置に乗り出す可能性が高い」との報道を受け1.1346の安値まで下落。一方NY時間にモスコビシ欧州委員が「21日にイタリアに制裁を科すとの報道はフェイクニュースだ」との見解を示すとユーロドルは反転し1.1424の高値まで上昇。1.1410レベルで引けた。ポンドドルは前週末に英タイムズ誌が「メイ首相にEU譲歩、離脱後も英全土が関税同盟に残留」との報道がなされ、早朝に1.3060越えまで上伸した。

【11/6】ドル円は113.20レベルでオープン。東京時間は日経平均株価が寄り付きから堅調推移となる中、為替市場では円売り基調となりドル円は113.40超えまで上伸。欧州時間は欧州株式市場の軟調な推移に一転円買いとなり、ドル円は113.11の安値まで下落。NY時間は、米9月JOLT求人(実績700.9万件/市場予想708.5万件)は市場予想を下回ったものの3ヶ月連続の700万件超えとなり、米労働市場の堅調さが改めて確認され、米10年債利回りが上昇。米株も堅調な推移となり再び円売り地合となると、ドル円は113.50の高値まで上昇し高値圏で引けた。東京時間のユーロドルは1.1399-1.1420のレンジで方向感なく推移。欧州時間は、ユーロ圏経済指標の良好な結果を受け小幅に上値を伸ばしたが、アイルランド民主統一党(DUP)の議員が「合意なきブレグジットに向かっている」との見解を示し、英ポンドが下落。欧州通貨売り地合いとなりユーロドルも連れ安となり、1.1392の安値まで下落した。一方、その後ラブ英離脱担当相が閣議終了後に「Thumbs UP」と発言したことや、「EU離脱案に関してメイ英首相が27日に議会からの承認獲得を目指す」とBREXITにポジティブな報道がなされると英ポンドが反発。ユーロドルも反発しNY時間序盤にかけて1.1438の高値まで上昇した。1.1420-25レベルで引けた。ポンドドルは上述の要因で上下したが、引けにかけては上昇基調を強め、1.3100超えまで上伸(ポンド円は148.50超え)。現在も高値圏で推移している。

【11/7】ドル円は113.40レベルでオープン。東京時間午前は米中間選挙の速報に対し為替市場は反応し、ドル円は112.97-113.82(高値)で乱高下した。東京時間午後に入り「米上院は共和党、下院は民主党がそれぞれ過半数を獲得へ」と事前予想通りの結果に相場は落ち着きを取り戻したが、「上院・下院のねじれ議会」が実現しトランプ政権の政策実現が不透明になったことで、為替相場はドル売りに傾斜しドル円は欧州時間にかけて112.94の安値まで下落した。NY時間は、イベントを無難に消化した安心感から欧州株式や米国株式が堅調に推移しリスクオンの円売り地合に。トランプ米大統領が「米経済の更なる成長へ共和、民主党に党派を超えた協調を呼びかけ」と示したことも相場を後押しした。「セッションズ米司法長官が辞任」との報道にドル円は上値を重くする場面もあったが、NY時間午後には掛けて米10年債利回りが上昇したことで113.60まで上昇し引けた。ユーロドルは1.1425レベルでオープン。東京時間は米中間選挙の報道を受け1.1395(安値)-1.1473で上下した。欧州時間は独9月鉱工業生産前月比(実績0.2%/市場予想0.0%)の市場予想対比強い結果や、相場全体がドル売りに傾斜したことで、ユーロドルは1.1500の高値まで上昇。NY時間は一転してドルが買い戻されると、ユーロドルはほぼ一方向に下落し、1.1425で引けた。



【11/8】ドル円は早朝に付けた113.47がこの日の安値。東京時間は前日の米国市場の流れを引き継ぎ日経平均株価が寄り付きから大幅高となる中、ドル円もじりじりと上値を伸ばし113.74まで上伸した。欧州時間はFOMCを控え様子見となり、113.70付近で方向感なく推移。NY時間は米新規失業保険申請件数(実績21.4万人/市場予想21.4)が市場予想通り良好な結果に。また、失業保険継続受給者数(実績162.3万人/市場予想163.4万人)は約45年振りの低水準となり、米労働市場の堅調さが伺える結果となった。為替相場はFOMCに向けてドル買いに傾斜すると、ドル円は113.97まで上昇。FOMCは、政策金利は市場予想通り据え置き(FF金利誘導目標2.00-2.25%)、声明文は「経済の見通しリスクは概ね均衡」、「労働市場は引き続き強まっている」、「さらなる漸進的な利上げを想定」と前回とほぼ同様の内容で、12月の追加利上げに向けて変わらぬスタンスが示された。FOMC後から米10年債利回りが上昇しドル買いが一段と強まると、ドル円は約1ヶ月振りに114円を上抜け114.09の高値まで上昇。高値圏で引けた。東京時間のユーロドルは1.1412-45のレンジで方向感なく推移。欧州時間は欧州委員会が経済見通しを公表し、19年のユーロ圏の成長率見通しを下方修正。イタリアについては19年が1.2%、20年が1.3%と予想し、伊政府の見通し(19年1.5%、20年1.6%)を下回ったことで、伊財政懸念が再燃しユーロドルは1.1404まで下落した。NY時間はアイルランドでの議会公聴会にて「ユーロ圏経済は良好で広範な成長が続く」との見解を示したことで1.1447の高値まで上昇。一方で「かなりの金融刺激策が依然必要」との見解も示したことや、為替相場がドル買いに傾斜したことで1.1400割れまで下落。FOMC後に一段とドル買いが強まったことで1.1352の安値まで下落し、安値圏で引けた。

【11/9】ドル円は前日NYクローズ直後につけた114.08がこの日の高値。東京時間は日経平均株価が下落に連れてドル円もじり安の展開となり113.90割れまで下落。又、中国10月消費者物価指数と同生産者物価指数はいずれも市場予想通りの結果となったものの、PPIは4カ月連続で鈍化。中国経済成長の減速を嫌気した中国株下落が金融市場全体のリスク許容度低下を招いた。欧州時間には欧州株の軟調推移や米10年債利回り低下も相俟って113.80割れまで下落。NY時間にかけて米長期金利が低下幅を縮小し、米10月生産者物価指数(前月比+0.6% / 予想+0.2%)が6年ぶりの上昇率を記録する好結果となった事からドル買いに傾斜しドル円は一時113.99まで戻すも、米株式市場が軟調な展開となり、米10年債利回りも一段と低下する中、頭の重い展開となった。更に「EU離脱を巡り、英国のジョー・ジョンソン運輸相が辞任」と伝わると為替市場は対欧州通貨を中心に円買いに傾斜しドル円は113.64(安値)をつけた。その後113.80を挟んで上値重く推移し、113.80-85レベルでこの週の取引を終えた。ユーロドルは東京時間朝方につけた1.1369がこの日の高値。アジア株式市場の下落が発端となり円買い・ドル買い地合いとなる中、ユーロドルはじり安の展開が続く、欧州時間には欧州株値下落も相俟って1.1327まで下落。NY入り後には一時1.1360まで戻す局面もあったものの、前述の英運輸相辞任が伝わり欧州通貨全般が売られる中、1.1317(安値)まで急落。1.1335近辺まで戻して引けた。ポンドドルは、メイ英政権が閣外協力を行っている民主統一党(DUP)のフォスター党首がメイ首相のBrexit案を批判したと伝わった他、上述の英運輸相辞任が伝わり、1.30台後半から1.29台後半まで下落した。

II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	113.00	115.00	ブル
ユーロ/円	127.50	130.00	ベア
ユーロ/ドル	1.1200	1.1400	ややベア

◆今週の予想

FRBの2大責務である雇用最大化と物価の安定であるが、前者は失業率4%割れとなり達成されていると言っていいだろう。ここからは物価の安定により政策の重点が置かれることから、12月の利上げに一段と期待感が高まりドル高圧力が増すだろう。今週は、14日に米CPI、15日に米輸入/輸出物価指数と物価関連指数が続き、15日のパウエルFRB議長を始め連銀関係者の発言も多い。

先日発表された米PPIは6年ぶりの伸びを示しており、今週の指標も強い結果が期待される。トランプ大統領からFRBへの利上げ牽制は度々聞かれるが、FRBが態度を変えない事を鑑みると、不動産王(=借入金利息はコスト)としてのガヤだと私は見る事になっている。物価の強い伸びが確認され、尚且つ株価が安定推移すればドル円が週内に年初来高値(114.55)を目指すこともあり得ると考える。

その株価だが、金曜日のダウ平均は▲201ドル(終値25,989ドル)で引けており、米10年債利回りは低下したものの、3.2%近辺を維持していることを考えると、またしても株価暴落が起こる事を連想させる。この連想の因に、米議会のねじれという何とも言えない不透明感があるとすれば、個人的にはその心配は少ないと考えている。直近3回の中間選挙結果(下記の通り)では、ねじれや上院下院ともに野党のケースもあったが、いずれのケースでも株価は底堅く、むしろ来夏頃まで上昇している。気の早い話ではあるが2年後の大統領選に向け本腰入れて景気対策を行うという機運が、その背景かもしれない。

(過去の間選挙結果) 06年ブッシュ政権(共和党): 上院、下院ともに民主党が過半数 / 10年オバマ政権(民主党): 上院/民主党、下院/共和党 が過半数 / 14年オバマ政権(民主党): 上院、下院ともに共和党が過半数

残念ながら、上記の予想に反して株価暴落を伴った円高となっても、下値は中間選挙開票中のドタバタで確認された“底堅かった113円”がサポートラインになるのではないだろうか。



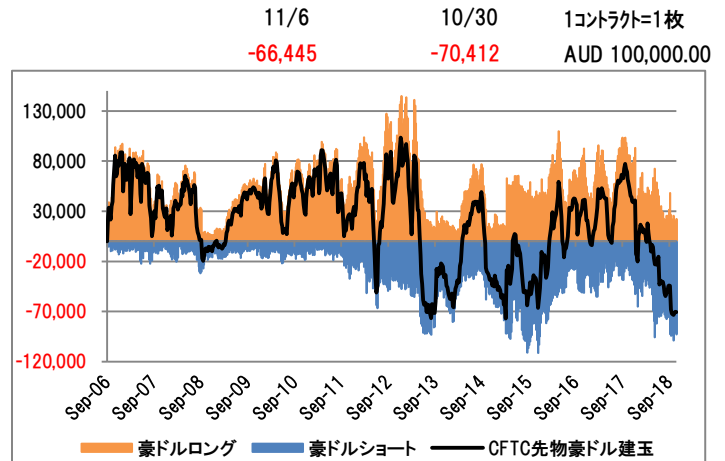
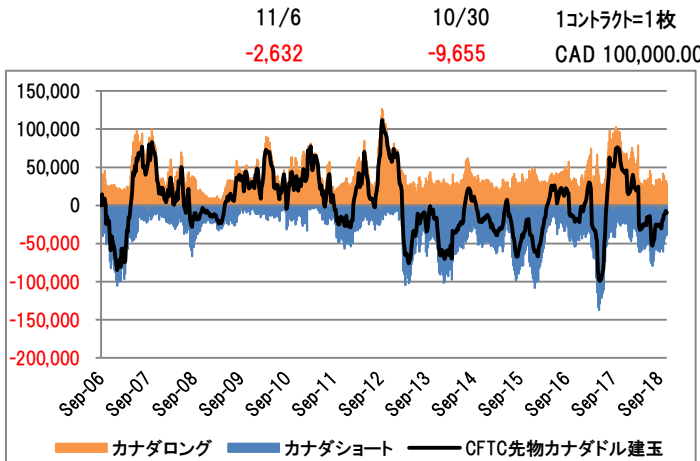
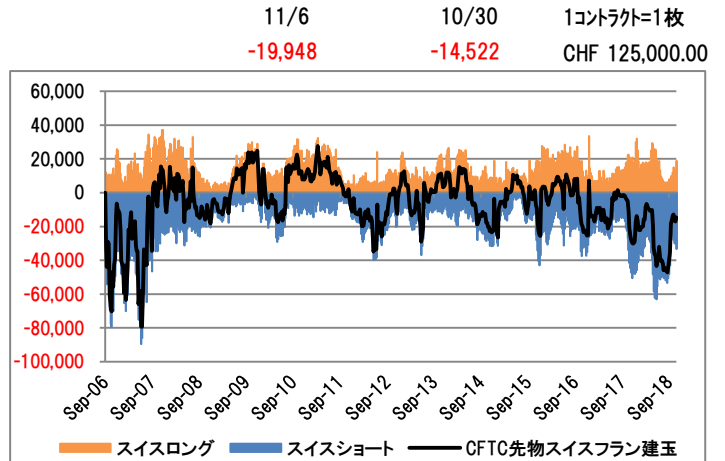
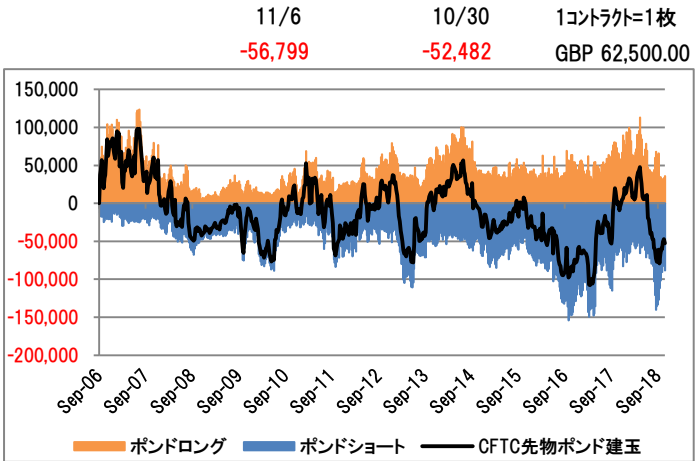
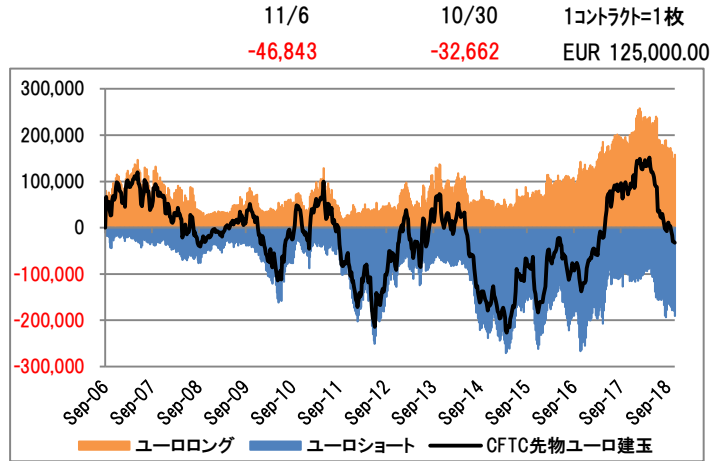
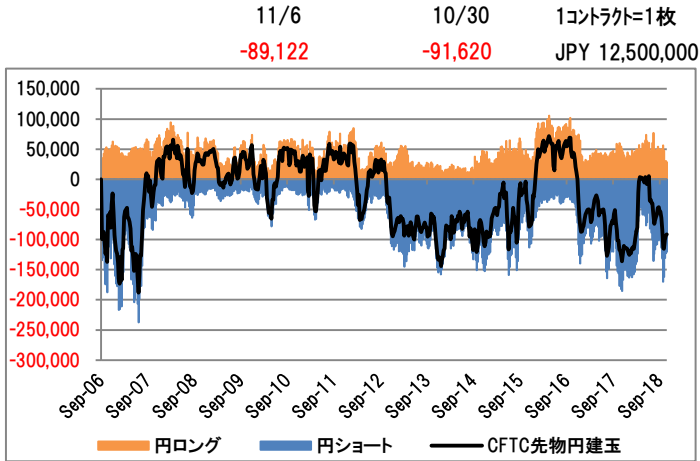
Ⅲ. 経済指標カレンダー

日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
11月12日	米債券市場休場			
11月13日	安倍首相、ペンス米副大統領と会談			
	16:00	独	10月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	18:30	英	10月	失業率(社会保障受給)
	18:30	英	10月	失業保険申請件数推移
	18:30	英	9月	ILO失業率(3ヵ月)
	19:00	独	11月	ZEW調査(現状指数/期待指数)
	0:00	米		カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、発言
	0:00	米		ブレイナー・FRB理事、発言
	4:00	米	10月	月次財政収支
11月14日	8:30	豪	11月	ウェストバンク消費者信頼感(季調済/前月比)
	8:50	日	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
	11:00	中	10月	小売売上高(前年比)
	11:00	中	10月	鉱工業生産(前年比)
	13:30	日	9月 確報値	鉱工業生産(前月比)
	16:00	独	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
	18:30	英	10月	消費者物価指数(前年比)
	18:30	英	10月	生産者物価指数(季調前、前月比)
	19:00	欧	第3四半期 速報値	GDP(季調済/前期比)
	21:00	米		MBA住宅ローン申請指数
	22:30	米	10月	消費者物価指数(前月比)
	0:00	米		クオールズFRB副議長、下院議会証言
	8:00	米		パウエルFRB議長
11月15日	APEC閣僚会議(パプアニューギニア・ポートモレスビー)			
	9:30	豪	10月	失業率
	10:30	豪		デベルRBA総裁補佐、発言
	18:30	英	10月	小売売上高(除自動車燃料、前月比)
	22:30	米	11月	ニューヨーク連銀製造業景気指数
	22:30	米	10月	小売売上高速報(前月比)
	22:30	米	11月	フィラデルフィア連銀景況
	22:30	米	10月	輸入物価指数(前月比)
	22:30	米		新規失業保険申請件数
	0:00	米		クオールズFRB副議長、上院議会証言
	1:30	米		パウエルFRB議長
	3:00	米		ボスティック・アトランタ連銀総裁、発言
	5:00	米		カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、発言
11月16日	19:00	欧	10月 確報値	消費者物価指数(前年比)
	23:15	米	10月	鉱工業生産(前月比)
	1:30	米		エバンス・シカゴ連銀総裁、発言
	6:00	米	9月	ネット長期TICフロー
11月17日	APEC首脳会議(パプアニューギニア・ポートモレスビー、18日まで)			



IV. IMM投機勘定

- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



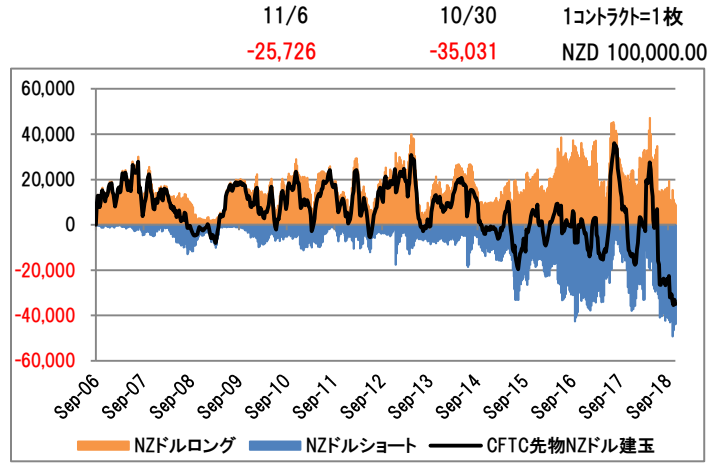
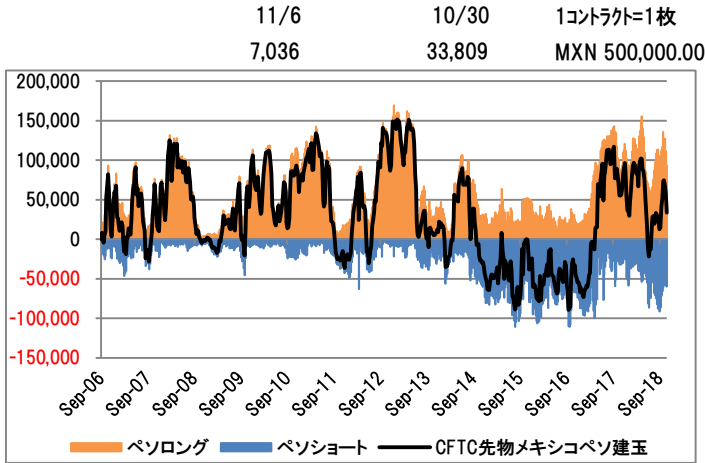


IV. IMM投機勘定

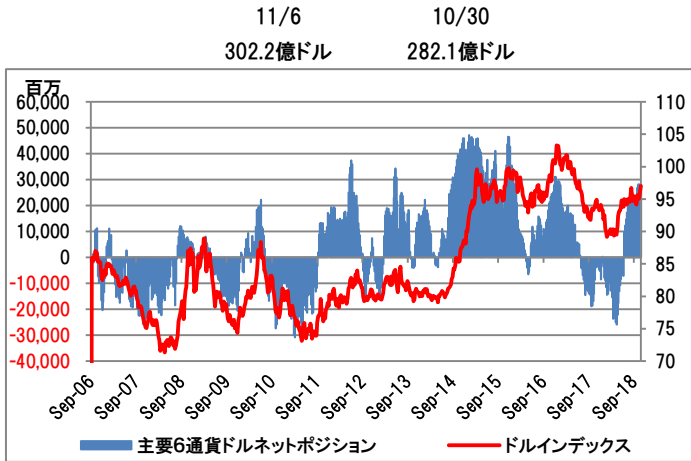
★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。

★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。

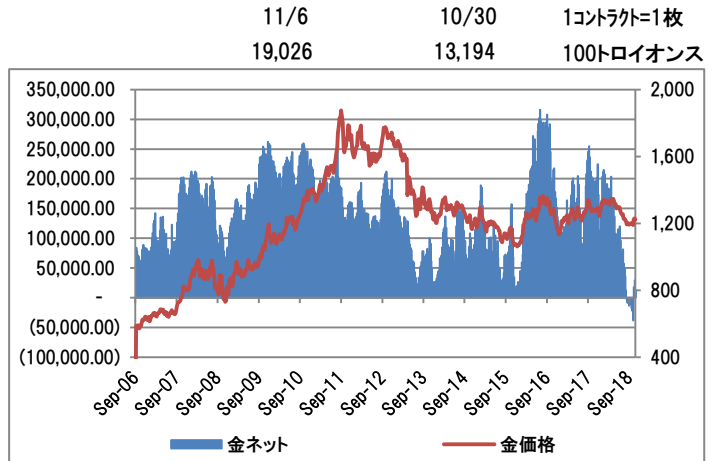
★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移



- ・この資料の無断での複写、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等／株式会社新生銀行 登録金融機関／関東財務局長(登金)第10号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会